

わくわくぽんぺつ

HONBETSU COMMUNITY PAPER WAKU WAKU PON-PET

JAや農畜産物をもっと身近に！
JAと地域の皆様をつなぐ情報紙です！



生後17日目の子馬だよ

第18回北海道総合畜産共進会(馬部門)
重種馬・第3部(2歳雌)で、1等1席を受賞



名号「タカラアメイジング」(本別町)

本別きらめきタウンフェスティバル
「ポニーばん馬レース」の様子



手前のポニーが「アポロ」(本別町)

3/15出産予定の「コウシュハセーラー」

仙美里小学校で行われたイベント
「馬とのふれあい体験」にて



馬車に乗って散歩したよ

今号のテーマ
本別町の馬について



ポニーばん馬レースは

帯広競馬場で行われている「ばんえい競馬」と似た競技です。騎手が乗った鉄のそりをポニーに引かせ、全長200mのコースに設置された大小の障害(台形状の小さな山)を超えてゴールを目指しますが、「ばんえい競馬」は直線コースで、ポニーばん馬レースはU字形のコースになります。このU字形に作られたコースには、コーナーの前後2カ所に大小の障害があります。



※この様なコースになります



レースの見どころは

出走したポニーのスピードだけでなく、鉄のそりを引く力や持久力、そして2つの障害をどうクリアするのです。騎手はポニーの調子や気配を感じ取って一気に攻めたり、障害の手前で一度止めてスタミナを温存させたりするテクニックも、レースの魅力です。



9/1のポニーばん馬レースでは

体高120cm以内のポニーをメインに、全16レースが行われました。ポニーの年齢と体の大きさ、レース内容(重量クラス)によって鉄のそりに載せる重りを変えます。重りは一番軽いレースで10kg、一番重いレースで250kgになります。また、騎手の体重が75kgになるよう砂の重りで調整します。レース直前に抽選でコース順を決め、スタートラインに並びます。観客からの熱い声援を受け、騎手とポニーの白熱したレースが繰り広げられました。



重りを載せた鉄のそりです



まずは1つ目。
低い方の第1障害を超えます



第2障害の砂で足が埋まり
そうになりながらも前へgo!!



難所を超え、
カメラ目線でパシャッ!!



「直線一気!!」
GOALを目指します!!

ゴールの勝敗を決める基準が違う!

平地競馬は馬の鼻先で決まりますが、ばん馬のレースでは鉄のそり全体がゴールラインを通り過ぎた時に勝敗が決まります。



最後尾まで入れば GOAL!!



本別町で飼養されている馬についてご紹介します。



1等1席・凛(1歳雌)
「キレイに撮ってね♥」と言われた気がして、思わずバシャッ!

馬にはいろいろな種類や体型があり、さまざまな用途で使われています。種類は大きく分けて5種類!主な用途や特徴は下記のとおりです。

- 重種馬…ばんえい競馬(主に農耕や重量物の運搬のために改良された)
- 軽種馬…競走馬、乗用馬(スマートな体型と素早い動きが特徴)
- 中間種…馬術競技用、馬車用など(温厚な性格で軽快さが特徴)
- ポニー種…子どもの乗馬用(成長しても体高が148cm以下の馬の総称)
※ミニチュアホースは、ポニーの中でも体高が83.8cm以下の馬のこと
- 日本在来種…観光馬(8種類いる。「道産子」など日本固有の馬)



本別町では9戸の農家さんが105頭の馬を生産しています。(R6.12月末調べ)

本別町で生産している馬の種類は、重種馬(「日本晩系種」ともいう)です。体重は800kgから1tを超える馬もいます。現在は帯広市のみで行われている「ばんえい競馬」(ばんえい十勝)にも、この重種馬が使われています。本別町では、この「ばんえい競馬」で走る「ばん馬」を生産しています。



毎年2月から4月ごろにかけて出産の時期を迎え、ここ、本別町でも30頭ほどの子馬が生まれる予定です。生まれたばかりの子馬は約70kgで、30分から90分ほどで立ち上がります。妊娠期間は11か月から12か月で、人間よりも少し長いです。2歳になると、ばんえい競走馬として活躍できそうな馬を選んで調教が始まります。そして、能力検定に合格した馬だけがレースに出場できます。本別町出身のばん馬がレースで活躍する姿が楽しみです。



馬とふれあう楽しい思い出♪

3月末に閉校する仙美里小学校では、11月5日に閉校記念イベントの「馬とのふれあい体験」(閉校記念事業協賛会主催)が行われました。当日は、ばんえい競馬のPR馬「フクスケ」(11歳)が引く馬車に乗って学校周辺を散策し、ポニーの「レディー」(17歳)との乗馬体験を楽しみました。馬と接するのが初めての子も多く、児童たちは興味津々でした。体験後はフクスケたちにお礼の人参を与え、終始笑顔が絶えない楽しい時間を過ごしました。



当日の様子

日頃の改良技術を競う

品評会では、農家さんの育てた家畜が、健康、体格、生産性、美しさなどの基準で評価されます。この品評会に参加する農家さんは、栄養管理やストレスの軽減、トレーニングなど、日々技術の向上に努めています。

6月の第1金曜日にはJA主催の「本別町家畜品評会」が開催され、馬・乳牛・肉牛の3部門があります。また、7月中旬には「十勝総合畜産共進会」が行われ、管内の農家さんがそれぞれ自慢の馬や牛を出陳します。十勝総合畜産共進会では、これまで本別町の馬が何頭も上位入賞しました。



馬産実務功労者表彰

重種馬の生産や育成に20年以上尽力し、ばんえい競走馬(ばん馬)の生産に貢献した65歳以上の馬農家さんが表彰されます。昨年に続き、今年も本別町の馬農家さんが表彰されました。



「くみあいだより」2025.3月号に掲載

7/15 鎮魂供養 ~安らかに眠れ~

本別町内には戦前、軍馬を育てる旧陸軍省軍馬補充部十勝支部(現在の農業大学校敷地内)がありました。育てられた軍馬は仙美里駅から戦場へ送られ、人馬一体で戦いました。昭和63年に、これらの馬たちを供養するために「鎮魂碑」が建立され、今年で37年になります。悲劇が再び起こらないことを願い、毎年本別空襲のあった7月15日に、本別町馬事振興会や関係者が参列してご冥福をお祈りしています。



ばんえい競馬は、

体重1t前後のばん馬が最大1tの鉄のそりを引いて、2カ所の障害が設置された200mの直線コースで力とスピード、持久力を競い合う、世界で1つだけの競馬です。

12月7日に、帯広競馬場で本別町馬事振興会の協賛レースが開催され、本別町で飼養された「ブルーサファイア」(牡2)が出走。騎乗した大友一馬騎手はこのレースがデビュー戦で、2着に入賞しました。ばんえい競馬では、他にもたくさんの本別生まれのばん馬がレースで活躍しています♪



出走前のパドックにて



2歳馬 ブルーサファイア レースの様子

9/1に開催されたポニーばん馬レース



秋の最大イベント「本別きらめきタウンフェスティバル」では、全道各地から集まったポニーたちが小さいながらも迫力満点のレースを繰り広げる、恒例の「ポニーばん馬レース」が行われています。今回のレースでは、本別町の「ウルフ」と「アポロ」の2頭が出走しました。

「ポニー」は、体高(地面から肩までの高さ)が148cm以下の馬を指します。ポニーの子どもが必ずポニーであるとは限らず、親がポニーでも子どもが148cmを超えると「馬」になります。走ると時速40kmほどのスピードを出すことができます。



豆知識